

CA Clarity™ Agile

CA Clarity™ PPM 用の統合ガイド(オンプレミス)

リリース 13.3.00



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により隨時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けて本書の全部または一部を複写、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、默示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2013 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CAへの連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト
(<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: 概要	7
カードパーティ統合について	7
CA Clarity™ PPM 統合	7
同期ジョブ	8
CA Software Change Manager と CA Clarity™ Agile の統合	9
CA Clarity™ Agile 用の Tasktop Dev および Tasktop Sync	9
第 2 章: CA Clarity™ Agile と CA Clarity™ PPM の統合	11
統合の概要	11
CA Clarity™ Agile と CA Clarity™ PPM の統合方法	12
前提条件の確認	14
CA Clarity™ Agile アドインの展開	14
CA Clarity™ Agile アドインのダウンロードおよび抽出	15
CA Clarity™ PPM サービスの停止	16
アドインのインストール	16
CA Clarity™ PPM でのアドインの設定	17
CA Clarity™ PPM 上の [Agile 設定] ページを設定します。	21
CA Clarity™ PPM からのデータ転送のセットアップ	23
プロジェクト統合ステータスの確認	30
ジョブ管理	30
CA Clarity™ Agile 同期ジョブ	31
Agile 製品同期ジョブ	31
Agile タイムシート同期ジョブ	33
Agile 要件とタスクマッピングの同期ジョブ	33
Agile ロール同期ジョブ	33
バーンダウンチャート	34
付録 A: CA Clarity™ Agile への CA Clarity™ PPM フィールドのマッピング	35
プロジェクトのマッピング	35
リソースのマッピング	36
リソースの更新	36
リソースの削除	36
フィールドマッピング	37

タスクのマッピング	38
タスクの更新	39
タスクの削除	39
フィールドと値のマッピング	40
タスク作業ログのマッピング	40
障害事項マッピング	41

第1章：概要

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[サードパーティ統合について \(P. 7\)](#)

[CA Clarity™ Agile 用の Tasktop Dev および Tasktop Sync \(P. 9\)](#)

サードパーティ統合について

CA Clarity™ Agile を以下の CA 製品と統合するように設定できます。

- CA Clarity™ PPM : 従来のプロジェクト管理プロセスを採用しつつ、アジャイル環境における要件を作成および管理できます。
- <CASCM> : CA Software Change Manager パッケージおよびパッケージ履歴情報に関する詳細を表示できます。

ベストプラクティス：各アドインで無効なセッションを防ぐために、以下のタスクを行います。

- アドインごとに別々のシステム管理者アカウントまたはスーパーユーザアカウントを作成します。
- アドインごとに別の時間に同期ジョブを実行します。
- アドインごとに別々のシステム管理者アカウントを作成できない場合は、別の時間に同期ジョブを実行します。アカウントは重複させないでください。

CA Clarity™ PPM 統合

CA Clarity™ Agile は CA Clarity™ PPM プロジェクトと統合できます。CA Clarity™ Agile Enterprise Edition ライセンスが必要です。この統合を使用して、製品オーナーは、従来のプロジェクト管理プロセスに準じる一方、Agile 環境で要件を作成および管理できます。CA Clarity™ Agile リリース 13.3.00 は、CA Clarity™ PPM の以下のリリースに統合できます。

- 12.1.3
- 13.0.x
- 13.1.x
- 13.2.00
- 13.3.00

統合には以下の機能が含まれます。

- CA Clarity™ Agile およびユーザを CA Clarity™ PPM から作成および管理する。
- CA Clarity™ Agile 要件を CA Clarity™ PPM タスクに関連付ける。
- Agile のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクから CA Clarity™ PPM の WBS を作成する。
- CA Clarity™ Agile タスク作業ログを使用して、CA Clarity™ PPM タイムシートに自動入力する。
- CA Clarity™ Agile で使用するロールを CA Clarity™ PPM からダウンロードする。
- CA Clarity™ Agile および CA Clarity™ PPM 間の情報を転送する同期ジョブを、事前に定義された間隔でバックグラウンドで実行する。

同期ジョブ

事前定義された間隔でバックグラウンドで実行され、CA Clarity™ PPM と CA Clarity™ Agile の間で情報を転送する、以下の同期ジョブが CA Clarity™ PPM で利用できます。

- Agile 製品同期ジョブ。このジョブはプロジェクトとリソースの情報を CA Clarity™ PPM から CA Clarity™ Agile に同期します。また、このジョブは、CA Clarity™ Agile のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクを使用して、CA Clarity™ PPM 内にプロジェクトの WBS を作成します。
- Agile タイムシート同期ジョブ。このジョブは CA Clarity™ Agile のタスク作業ログを使用して、CA Clarity™ PPM の対応するリソースのタイムシートに自動入力します。
- Agile 要件とタスクマッピングの同期ジョブ。このジョブは、関連するリリースの CA Clarity™ Agile 要件および CA Clarity™ PPM タスク情報を同期します。
- Agile ロール同期ジョブ。このジョブは CA Clarity™ PPM から CA Clarity™ Agile にロールをダウンロードします。

CA Software Change Manager と CA Clarity™ Agile の統合

CA Clarity™ Agile を CA Software Change Manager バージョン 12.1.03 以降と統合して、ユーザストーリー、問題、および要件に関連付けられているパッケージに関する情報を表示できます。

統合をセットアップするには、システム管理者は以下の手順を完了します。

- システム管理者は、CA Clarity™ Agile と連携するように CA Software Change Manager を設定します。CA Software Change Manager の設定方法については、「CA Software Change Manager 管理ガイド」（CA Support で入手可能）を参照してください。
- システム管理者は、CA Clarity™ Agile 内の [グローバル設定] ページから CA Software Change Manager を有効にします。CA Software Change Manager の有効化の詳細については、CA Clarity™ Agile の「管理ガイド」を参照してください。

CA Clarity™ Agile 用の Tasktop Dev および Tasktop Sync

Tasktop を使用すると、個別のリポジトリに格納されている主要プロジェクトのアイテムに CA Clarity™ Agile を接続することができます。Tasktop の同期テクノロジを使用して、CA Clarity™ Agile は、JIRA、HP Quality Center、IBM Rational Team Concert (RTC) など、他の ALM 製品と、ユーザストーリー、タスク、欠陥などのアイテムを共有できます。このような統合には、以下の利点があります。

- 計画を開発、QA および管理に継続的に関連付けます。
- CA Clarity™ Agile のアイテムを IDE から直接管理することで、ソフトウェア開発に集中することができます。
- データ精度を向上し、個別のリポジトリにあるプロジェクト情報によって引き起こされるエラーの可能性を減らすことに役立ちます。
- プロジェクトチーム全体にわたる統合された表示機能とレポート機能が使用できます。

CA Clarity™ Agile 用 Tasktop コネクタのダウンロードとインストール手順については、<https://tasktop.com/connectors/ca-agile-vision/installation> を参照してください。

注: Tasktop の詳細については、<http://help.tasktop.com/help/> で利用可能な Tasktop ヘルプを参照してください。

第 2 章: CA Clarity™ Agile と CA Clarity™ PPM の統合

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[統合の概要 \(P. 11\)](#)

[CA Clarity™ Agile と CA Clarity™ PPM の統合方法 \(P. 12\)](#)

[ジョブ管理 \(P. 30\)](#)

[バーンダウンチャート \(P. 34\)](#)

統合の概要

CA Clarity™ PPM と CA Clarity™ Agile では、同じオブジェクトを異なる用語で表している場合があります。CA Clarity™ PPM におけるプロジェクトは、CA Clarity™ Agile におけるリリースを意味します。

情報を共有するには、事前に CA Clarity™ PPM プロジェクトを CA Clarity™ Agile に関連付けます。関連付けが確立されると、CA Clarity™ Agile の製品とリリースの詳細を指定するための Agile サブページが CA Clarity™ PPM で利用可能になります。

関連付けられた CA Clarity™ PPM プロジェクトを削除した場合、同じ CA Clarity™ Agile リリースに別のプロジェクトをリンクすることはできません。新しい CA Clarity™ PPM プロジェクトを別のリリースにリンクし、新しくリンクしたリリースに詳細（ユーザストーリー、タスク、要件）を移行できます。

統合が完了すると、CA Clarity™ PPM で実行されるジョブによって、CA Clarity™ PPM および CA Clarity™ Agile 内の情報が更新および同期されます。実行されるジョブは、更新される情報によって異なります。ジョブは定期的に実行されるように設定できます。必要に応じて CA Clarity™ PPM から手動で実行することもできます。統合のジョブの詳細については、「[ジョブ管理 \(P. 30\)](#)」を参照してください。

CA Clarity™ PPM および CA Clarity™ Agile の間で更新されるフィールドの全リストについては、「[CA Clarity™ Agile への CA Clarity™ PPM フィールドのマッピング \(P. 35\)](#)」を参照してください。

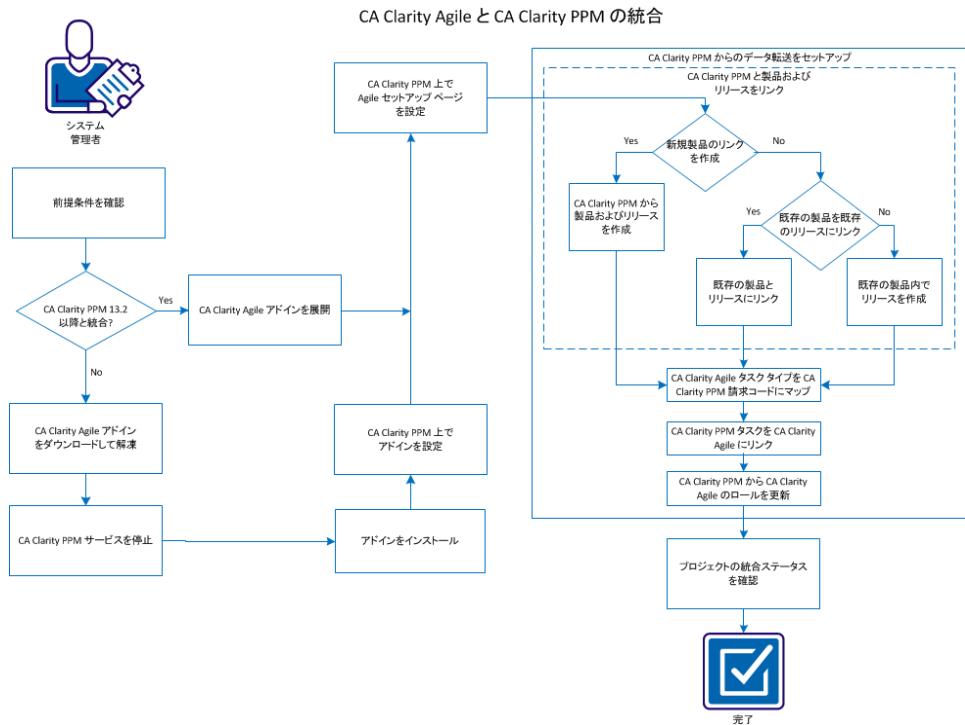
CA Clarity™ Agile と CA Clarity™ PPM の統合方法

システム管理者として、CA Clarity™ Agile を CA Clarity™ PPM と統合できます。この統合を使用して、製品オーナーは、従来のプロジェクト管理プロセスに準じる一方、Agile 環境で要件を作成および管理できます。

統合には以下の機能が含まれます。

- CA Clarity™ Agile およびユーザを CA Clarity™ PPM から作成および管理する。
- CA Clarity™ Agile の要件を CA Clarity™ PPM のタスクと関連付ける。
- Agile のスプリント、かんばん、ユーザストーリー、およびタスクから CA Clarity™ PPM の WBS を作成する。
- CA Clarity™ Agile タスク作業ログを使用して、CA Clarity™ PPM タイムシートに自動入力する。
- CA Clarity™ Agile で使用するロールを CA Clarity™ PPM からダウンロードする。
- CA Clarity™ Agile および CA Clarity™ PPM 間の情報を転送する同期ジョブを、事前に定義された間隔でバックグラウンドで実行する。

以下の図は、システム管理者が CA Clarity™ Agile および CA Clarity™ PPM をどのように統合できるかを説明しています。



CA Clarity™ PPM を CA Clarity™ Agile と統合するには、以下の手順に従います。

1. [前提条件を確認します](#) (P. 14)。
2. CA Clarity™ PPM リリース 13.2.00 以降と統合する場合は、以下の手順に従います。
 - a. [CA Clarity™ Agile アドインを展開します](#) (P. 14)。
 - b. 手順 7 に進みます。
3. [CA Clarity™ Agile アドインをダウンロードおよび抽出します](#) (P. 15)。
4. [CA Clarity™ PPM サービスを停止します](#) (P. 16)。
5. [アドインのインストール](#) (P. 16)。
6. [CA Clarity™ PPM でアドインを設定します](#) (P. 17)。
7. [CA Clarity™ PPM 上の「Agile 設定」ページを設定します](#) (P. 21)。
8. [CA Clarity™ PPM からデータ転送をセットアップします](#) (P. 23)。
9. [プロジェクト統合ステータスを確認します](#) (P. 30)。

前提条件の確認

CA Clarity™ Agile と CA Clarity™ PPM を統合する前に、CA Clarity™ Agile ライセンスが使用可能であることを確認してください。

CA Clarity™ Agile アドインの展開

CA Clarity™ PPM リリース 13.2 以降では、CA Clarity™ Agile アドインファイルがインストールに含まれています。アドインの更新は CA Clarity™ PPM の更新とともに提供されます。CA Clarity™ Agile アドインを展開するコマンドを実行します。

次の手順に従ってください:

1. コマンドプロンプトを開き、CA Clarity™ PPM の runtime/bin ディレクトリに移動します。
2. 以下のコマンドを入力します。
`admin content avee`
3. インストールプロセスが開始され、画面に情報が表示されます。これらの情報はキャプチャされ、ログディレクトリにある `admin.log` ファイル内に格納されます。
4. インストールが完了したら、画面の出力やログに重要な情報がないかどうかを確認します。

アドインが展開され、Agile のサブページが CA Clarity™ PPM 上で表示できます。インストールが完了したら、[CA Clarity™ PPM を設定 \(P. 21\)](#) し、[データ転送を設定 \(P. 23\)](#) して統合を完了します。

CA Clarity™ Agile アドインのダウンロードおよび抽出

CA Clarity™ PPM 13.1.x 以前のリリースについては、support.ca.com から、お使いのコンピュータまたはネットワーク上のアクセス可能な場所に必要なファイルをダウンロードできます。ファイルには、必須となるインストールスクリプト CA Clarity™ Agile アドインが含まれます。

次の手順に従ってください:

1. ご自分の CA 電子メールアドレスとパスワードで、www.support.ca.com にログインします。
2. [Support] メニューから [Download Center] をクリックします。
3. 以下の製品情報を選択し、[Go] をクリックします。
 - CA Clarity PPM の CA Clarity Agile - FORCE.COM との統合
 - リリース 5.0
 - Gen level 0000
4. [Product Components] セクションから、GEN10091324M.zip ファイルをダウンロードして解凍します。
5. CA Clarity™ PPM アプリケーションサーバ上の <Clarity インストールディレクトリ>/lib ディレクトリに以下のファイルをコピーします。

avee.1.8.0.0205.v12.jar

v12 CA Clarity™ PPM 用

avee.1.8.0.0205.v13.jar

v13 CA Clarity™ PPM 用

.jar ファイルには以下のファイルが含まれます。

インストールスクリプト

.jar ファイルはインストールスクリプト。

install.bat

Windows インストールスクリプト。

install.xml

Ant インストールスクリプトには、以下のファイルが含まれます。

install.sh

Unix インストールスクリプト。

package

更新されたファイルのディレクトリ。

tools

サポートファイルのディレクトリ。

CA Clarity™ PPM サービスの停止

アドインをインストールする前に、CA Clarity™ PPM アプリケーション サービス (app) とバックグラウンド (bg) サービスを停止して、問題を回避します。

次の手順に従ってください:

1. Clarity システム管理 (NSA) にログインします。
2. CA Clarity™ PPM アプリケーション サービス (app) およびバックグラウンド サービス (bg) を停止します。

アドインのインストール

CA Clarity™ PPM アプリケーション サービスおよびバックグラウンド サービスを停止した後、オブジェクト、レポート、およびデータベースを更新するアドインをインストールします。

重要: このアドインをインストールする前に、CA Clarity™ PPM インストールをバックアップし、必要に応じてアプリケーションを前のバージョンに復元できるようにします。アドインをインストールするとき、プロジェクトなどの CA Clarity™ PPM 標準オブジェクトのカスタマイズされたビューを上書きできます。ユーザの組織でビューをカスタマイズしている場合は、このアドインを実稼働環境にインストールする前に、テスト環境でインストールを実施し、結果を注意深く検討する必要があります。アドインをインストールすると、アンインストールすることはできません。

次の手順に従ってください:

1. .jar ファイルを抽出したディレクトリでコマンドプロンプト ウィンドウを開き、以下のコマンドを実行します。
`install`

2. Enter キーを押します。
3. 画面上の指示に従って、アドインのインストールを実行します。

CA Clarity™ PPM でのアドインの設定

アドインのサブページが CA Clarity™ PPM で使用できるように CA Clarity™ PPM で CA Clarity™ Agile アドインを設定することができます。以下の手順のいずれかを実行できます。

- [CA Clarity™ Agile アドインの新規インストールを設定します \(P. 17\)](#)。
- [CA Clarity™ Agile アドインのアップグレードを設定します \(P. 18\)](#)。

CA Clarity™ Agile アドインの新規インストールの設定

CA Clarity™ PPM への CA Clarity™ Agile アドインの新規インストールは、以下の手順で設定します。

次の手順に従ってください:

1. Clarity システム管理 (NSA) にログインします。
2. CA Clarity™ PPM アプリケーション (app) およびバックグラウンド (bg) サービスを再起動します。
3. CA Clarity™ PPM アプリケーションにログインします。
4. [管理] をクリックし、[Studio] から [オブジェクト] をクリックします。
5. オブジェクト名「プロジェクト」でフィルタします。
オブジェクトリストが表示されます。
6. プロジェクトオブジェクトをクリックし、[ビュー] タブをクリックします。
7. [プロジェクトのプロパティ] ビューの [レイアウト: 編集] をクリックします。
プロパティ レイアウトが表示されます。
8. Agile プロジェクトプロパティを展開し、次に、[統合ステータス] セクションを展開します。
9. [統合ステータス] セクションの [プロパティとレイアウト] アイコンをクリックします。
セクションプロパティおよびレイアウトが表示されます。
10. レイアウトを変更し、[保存して戻る] をクリックします。
11. [戻る] をクリックし、オブジェクト定義ビューに戻ります。
12. [発行] をクリックしてビューを発行します。

13. [はい] をクリックして、ビューの発行を確認します。
14. [ホーム] を開き、[パーソナル] から、[レポートとジョブ] をクリックします。
15. [ジョブ] タブから [スケジュール済みジョブ] を選択します。
16. 事前定義されたレベルで実行されるように以下のジョブを再スケジュールします。
 - Agile 製品同期
 - Agile 作業ログ同期
 - Agile 要件とタスク マッピングの同期
 - Agile ロールの同期
17. [コントロール] をクリックし、[データ管理] から [プロセス] をクリックします。
使用可能なプロセスのリストが表示されます。
18. [Agile フィールドロック中] のプロセスをクリックし、[検証] タブをクリックします。
19. すべての検証オブジェクトを選択し、[すべてを検証してアクティブにする] をクリックします。
検証が完了すると、オブジェクトのステータスが [検証済み] に、モードが [アクティブ] にそれぞれ変わります。
20. 以下のプロセスについて手順 18 および 19 を繰り返します。
 - Agile 要件マップ タスクの作成
 - Agile タスク タイプの自動入力
 - Agile 同期プロジェクトとタスク情報
21. Clarity の app および bg サービスを再起動します。

CA Clarity™ Agile アドインのアップグレード設定

CA Clarity™ PPM 用 CA Clarity™ Agile アドインのアップグレードは、以下の手順に従って設定します。

次の手順に従ってください:

1. Clarity システム管理 (NSA) にログインします。
2. CA Clarity™ PPM アプリケーション (app) およびバックグラウンド (bg) サービスを再起動します。

3. CA Clarity™ PPM アプリケーションにログインします。
4. [ホーム] を開き、[パーソナル] から、[レポートとジョブ] をクリックします。
5. [ジョブ] タブから [スケジュール済みジョブ] を選択します。
6. 以下のスケジュール済みジョブを削除し、これらのジョブの実行中のインスタンスがないことを確認します。
 - Agile 製品同期
 - Agile タイムシート同期
 - Agile 要件とタスク マッピングの同期
 - Agile ロールの同期
7. [ホーム] から [オーガナイザ] をクリックします。
8. [プロセス] タブから [開始済み] をクリックします。
9. 以下のプロセスを選択し、[プロセスのキャンセル] をクリックします。
 - Agile フィールド ロック中
 - Agile 要件マップ タスクの作成
 - Agile タスク タイプの自動入力
 - Agile 同期プロジェクトとタスク情報
10. [Studio] から [アドイン] をクリックします。
11. Agile をクリックします。
12. すべてを選択し、[適用] をクリックします。
13. [はい] をクリックし、プロセスが完了するのを待機します。
[アドイン詳細] ページに、すべての項目のステータスがインストール済みとして表示されます。
14. [コントロール] をクリックし、[データ管理] から [プロセス] をクリックします。
使用可能なプロセスのリストが表示されます。

15. [Agile フィールドロック中] のプロセスをクリックし、[検証] タブをクリックします。
16. すべての検証オブジェクトを選択し、[すべてを検証してアクティブにする] をクリックします。
検証が完了すると、オブジェクトのステータスが [検証済み] に、モードが [アクティブ] にそれぞれ変わります。
17. 以下のプロセスについて手順 15 および 16 を繰り返します。
 - Agile 要件マップ タスクの作成
 - Agile タスク タイプの自動入力
 - Agile 同期プロジェクトとタスク情報
18. [管理] をクリックし、[Studio] から [オブジェクト] をクリックします。
19. オブジェクト名「プロジェクト」でフィルタします。
オブジェクトリストが表示されます。
20. プロジェクト オブジェクトをクリックして開きます。
21. [属性] タブをクリックし、[Agile にリンク] をクリックします。
22. [表示が必須] チェック ボックスをオフにし、[保存して戻る] をクリックします
23. [ビュー] をクリックし、[プロジェクトのプロパティ] の [フィールド] をクリックします。
[プロジェクトのプロパティ - プロパティ] フィールドが表示されます。
24. プロパティ ラベル [Agile と Requirements にリンク] を [Agile にリンク] に変更します。
25. [保存して戻る] をクリックします。
オブジェクト定義ビューが表示されます。
26. [属性] をクリックし、[Agile にリンク] をクリックします。
27. [表示が必須] を選択し、[保存して戻る] をクリックします。
28. [ビュー] をクリックし、[発行] をクリックします。
確認のプロンプトが表示されます。
29. [はい] をクリックして、ビューの発行を確認します。

30. 事前定義されたレベルで実行されるように以下のジョブを再スケジュールします。
 - Agile 製品同期
 - Agile タイムシート同期
31. Clarity の app および bg サービスを再起動します。

CA Clarity™ PPM 上の [Agile 設定] ページを設定します。

通信およびデータ転送が可能になるように CA Clarity™ PPM と CA Clarity™ Agile のリンクを設定します。CA Clarity™ Agile アドインのインストール後、バックグラウンドサービスを開始する前に、CA Clarity™ PPM が Salesforce.com へのアクセスに使用する URL を編集できます。既定の URL は通常の環境を参照します。CA Clarity™ Agile 用のサンドボックス環境を作成し、アドインがサンドボックス環境にアクセスできるように URL を変更できます。

注: URL を変更するのは、CA Clarity Agile サンドボックス環境にアクセスする場合だけにしてください。この手順は、サンドボックス環境を設定している場合のみ行ってください。詳細については、Salesforce.com の「ヘルプ & トレーニング」を参照してください。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity™ PPM にログインし、[管理ツール] にアクセスします。
2. [管理] をクリックし、[一般設定] から、[Agile 設定] をクリックします。[Agile 管理者設定] ページが表示されます。
3. [Agile ログイン情報] セクションの以下のフィールドに入力します。

ユーザ名

システム管理者の権限で CA Clarity™ Agile にログインするためのユーザ名を定義します。

パスワード

システム管理者の権限で CA Clarity™ Agile にログインするためのパスワードを定義します。

セキュリティトークン

ログインが失敗した場合、または信頼されていないネットワークから CA Clarity™ PPM サーバを実行している場合に、サーバの識別に使用するセキュリティトークンを定義します。このトークンは、SalesForce.com の[Personal Setup]ページから取得できます。詳細については、SalesForce.com のオンラインヘルプを参照してください。

Agile 環境 URL

CA Clarity™ Agile の実稼働環境またはサンドボックス環境にアクセスするために CA Clarity™ PPM が使用する URL を指定します。

実稼働環境

<https://login.salesforce.com/services/Soap/u/27.0>

テスト環境

<https://test.salesforce.com/services/Soap/u/27.0>

Agile URL

CA Clarity™ PPM が CA Clarity™ Agile 内の要件リストにアクセスするために使用する URL を指定します。

重要: 既定の URL は変更しないでください。

4. (オプション) [プロキシサーバ情報] セクションの以下のフィールドに入力します。

ホスト名

プロキシサーバのホスト名を定義します。

ポート

プロキシサーバのポートを定義します。

ユーザ名

プロキシサーバのユーザ名を定義します。

パスワード

プロキシサーバのパスワードを定義します。

5. 変更を保存します。

CA Clarity™ PPM からのデータ転送のセットアップ

データ転送をセットアップするには、関連付けを行った CA Clarity™ PPM プロジェクトで CA Clarity™ Agile 製品の詳細を指定する必要があります。データ転送をセットアップするための方法を以下に示します。

- 以下のいずれかの方法によって、CA Clarity™ Agile 製品およびリリースを CA Clarity™ PPM とリンクします。
 - [CA Clarity™ PPM から製品およびリリースを作成します \(P. 24\)](#)。
 - [CA Clarity™ Agile の既存製品およびリリースにリンクします \(P. 26\)](#)。
 - [既存の CA Clarity™ Agile 製品内でリリースを作成します \(P. 27\)](#)。
- [CA Clarity™ Agile タスク タイプを CA Clarity™ PPM 請求コードにマッピングします \(P. 27\)](#)。
- [CA Clarity™ PPM タスクを CA Clarity™ Agile とリンクします \(P. 29\)](#)。
- [CA Clarity™ PPM から CA Clarity™ Agile 内のロールを更新します。 \(P. 29\)](#)

CA Clarity™ PPM と CA Clarity™ Agile 間でプロジェクトをリンクする際は、以下のルールが適用されます。

- 製品 ID およびリリース名を指定し、リリース ID を空白にした場合、指定した製品の新しいリリースが作成されます。
- 製品と、リリース ID およびリリース名の両方を指定した場合、リリース名は無視され、リリース ID を使用して、既存の製品とリンクされます。
- 製品またはリリースを作成すると、CA Clarity™ PPM プロジェクトの説明が製品またはリリースの説明として追加されます。スーパー ユーザはこの説明を変更できます。変更した説明は CA Clarity™ PPM によって上書きされません。
- すべてのフィールドを空白にすると、同期ジョブが失敗し、CA Clarity™ Agile での新規作成またはリンクは行われません。

ベスト プラクティス : CA Clarity™ PPM プロジェクトを CA Clarity™ Agile にリンクする場合は、以下の前提条件を確認します。

- 工数タスクの自動作成のオプションがオフになっている。
- 現在、CA Clarity™ PPM プロジェクトにタスクが存在しない。

CA Clarity™ PPM からの製品およびリリースの作成

CA Clarity™ PPM でプロジェクトを作成し、プロジェクトで製品名およびリリース名を指定できます。同期ジョブが実行されると、CA Clarity™ Agile にリリースが作成されます。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity™ PPM へログインします。
2. [ポートフォリオ管理] メニューから [プロジェクト] を選択します。
プロジェクトリストページが表示されます。
3. [新規] をクリックして新しいプロジェクトを作成し、必要なフィールドに値を入力して、[保存] をクリックします。
[プロパティ] ページが表示されます。
4. [Agile にリンク] チェックボックスをオンにし、[保存] をクリックします。
[プロパティ] メニュー内で [Agile] および [Agile タスク タイプ マッピング] オプションが利用可能になります。
5. [プロパティ] をクリックし、[概要] から [Agile] をクリックします。
Agile のプロパティ ページが表示されます。
6. 以下のフィールドに入力します。

Agile 製品名

作成する新しい CA Clarity™ Agile 製品の名前を定義します。

Agile リリース名

作成する新しい CA Clarity™ Agile リリースの名前を定義します。

製品プレフィックス

ユーザストーリーおよびタスクの製品名に追加する、一意のプレフィックスを定義します。製品の作成後は、プレフィックスを変更できません。

制限: 6 文字

注: 次のフィールドを空欄にしておきます: [Agile 製品 ID] および [Agile リリース ID]。

7. 変更結果を提出します。

Agile 製品同期ジョブを実行すると、CA Clarity™ PPM の以下のフィールドに値が自動的に入力されます。新規製品とリリースは CA Clarity™ Agile で作成されます。

Agile 製品 ID

Agile 製品 ID を表示します。この値は、CA Clarity™ Agile から自動的に取得されます。

ソース : CA Clarity™ Agile の [製品の詳細] ページの [製品 ID] フィールド。

Agile リリース ID

Agile リリース ID を表示します。この値は、CA Clarity™ Agile から自動的に取得されます。

ソース : CA Clarity™ Agile の [リリースの詳細] ページの [リリース ID] フィールド。

既存の製品およびリリースへのリンク

製品 ID およびリリース ID の指定により既存の CA Clarity™ Agile 製品およびリリースを CA Clarity™ PPM プロジェクトにリンクできます。製品リリースまたはマスタリリースにリンクすることができます。マスタリリースにリンクすると、マスタリリースに割り当てられているすべてのユーザストーリーおよびタスクを CA Clarity™ PPM 内で表示できます。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity™ PPM で、Agile 製品に関連付けるプロジェクトを開きます。
プロジェクトのプロパティが表示されます。
2. [Agile にリンク] チェックボックスをオンにし、[保存] をクリックします。
3. [プロパティ] をクリックし、[概要] から [Agile] をクリックします。
Agile のプロパティページが表示されます。
4. 以下のフィールドに入力します。
 - 製品リリースにリンクしている場合、[Agile 製品 ID] および [Agile リリース名 ID] を定義します
 - 既存のマスタリリースにリンクしている場合、[Agile マスタリリース ID] を定義します。この値は、このプロジェクトを CA Clarity™ Agile 内の既存のマスタリリースにリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

ソース : CA Clarity™ Agile の [マスタリリースの詳細] ページの [マスタリリース ID] フィールド。

注: 次のフィールドを空欄にしておきます: [Agile 製品名]、[Agile リリース名]、および [製品プレフィックス]。

5. 変更結果を提出します。

Agile 製品同期ジョブを実行すると、CA Clarity™ PPM の以下のフィールドに値が自動的に入力されます。

- Agile 製品名
- Agile リリース名
- 製品プレフィックス

既存の製品内でのリリースの作成

既存の CA Clarity™ Agile 製品内でリリースを作成するには、CA Clarity™ PPM プロジェクトで製品 ID およびリリース名を指定します。リリース ID、製品名、および製品プレフィックスの値は定義しません。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity™ PPM でプロジェクトを開き、[Agile にリンク] チェックボックスをオンにし、[保存] をクリックしてこのプロジェクトを CA Clarity™ Agile に関連付けます。
プロジェクトのプロパティが表示されます。
2. [プロパティ] をクリックし、[概要] から [Agile] をクリックします。
Agile のプロパティ ページが表示されます。
3. 以下のフィールドに入力します。
 - Agile 製品 ID
 - Agile リリース名

注: 次のフィールドを空欄にしておきます: [Agile リリース ID]、[Agile 製品名]、および [製品プレフィックス]。
4. 変更結果を提出します。
Agile 製品同期ジョブを実行すると、CA Clarity™ PPM の以下のフィールドに値が自動的に入力されます。
 - Agile リリース ID
 - Agile 製品名
 - 製品プレフィックス

CA Clarity™ Agile タスクタイプの CA Clarity™ PPM 請求コードへのマッピング

CA Clarity™ PPM で請求コードをプロジェクトタスクに割り当てている場合、これらの請求コードを CA Clarity™ Agile のタスク タイプにマッピングできます。タスク タイプを請求コードにマッピングすると、リンクされたタスクの実績値に適切な請求コードを割り当てることができます。以下のグローバルアクセス権とインスタンスアクセス権がある場合、プロジェクトマネージャは、タスク タイプを請求コードにマッピングし、[Agile タスク タイプの自動入力] プロセスを実行することができます。

- タスク タイプおよび請求コードマッピング- 作成
- タスク タイプおよび請求コードマッピング- すべて編集
- プロセス開始

ベスト プラクティス :

- 請求コードのマッピングを誤って削除した場合、[Agile タスク タイプの自動入力] プロセスを手動で実行すると、削除したマッピングを復元できます。
詳細については、「CA Clarity™ PPM 管理ガイド」を参照してください。
- タスク タイプは、1つの請求コードにしかマップできません。CA Clarity™ Agile でタスクにタスク タイプが定義されていない場合は、CA Clarity™ PPM で既定の請求コードを割り当てることができます。

CA Clarity™ Agile に新しいタスク タイプがある場合は、CA Clarity™ PPM で新しい請求コードを作成し、その請求コードに新しいタスク タイプをマップします。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity™ PPM で [管理] をクリックし、[プロジェクト管理] から [請求コード] をクリックします。
 2. [新規] をクリックし、必要なフィールドに入力します。
 3. 変更を保存します。
- 新しい請求コードが作成されます。

請求コードを作成したら、CA Clarity™ Agile タスク タイプにマップできます。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity™ PPM で、リンクされたプロジェクトを開きます。
プロジェクトのプロパティが表示されます。
2. [プロパティ] から [Agile タスク タイプマッピング] をクリックします。
プロジェクトの [Agile タスク タイプマッピング] ページが表示されます。
3. [新規] をクリックします。
[Agile タスク タイプと請求コードのマッピングの作成] ページが表示されます。
4. 以下のフィールドに情報を入力し、提出します。

タスク タイプ

タスクの CA Clarity™ Agile タスク タイプを定義します。

請求コード

同じタスクに CA Clarity™ PPM の請求コードを定義します。

5. 変更を保存します。

CA Clarity™ PPM 請求コードが CA Clarity™ Agile タスク タイプに正常にマップされます。

CA Clarity™ PPM タスクの CA Clarity™ Agile へのリンク

複数のタスクを単一の要件にリンクすることができ、複数の要件を単一のタスクにリンクすることができます。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity™ PPM で、リンクされたプロジェクトを開きます。
プロジェクトのプロパティが表示されます。
2. [タスク] タブをクリックし、[ガント] をクリックします。
3. タスクを探し、[マップ済み要件] 列のアイコンをクリックします。
[マップ済みタスク: プロパティ] ページが表示され、メニューの [Agile 要件とタスクのマッピングリスト] オプションが選択されます。
4. [新規] をクリックします。
[Agile 要件とタスクのマッピングプロパティの作成] ページが表示されます。
5. [参照] アイコンをクリックし、タスクにマップする CA Clarity™ Agile 要件を選択します。
6. [保存して戻る] をクリックします。
要件が一覧表示された [マップ済みタスク: プロパティ] ページが表示されます。
注: 要件をタスクに追加すると、要件リストに CA Clarity™ Agile 要件情報が自動入力されます。リストが空の場合は、ページをリフレッシュします。
7. 以下のいずれかを選択します。
 - タスクに別の要件をマップするには、[新規] をクリックします。
 - [戻る] をクリックして [WBS] に戻ります。
 次回 Agile 要件とタスクのマッピング同期ジョブを実行すると、リンクされたタスクおよび要件に関する情報で CA Clarity™ Agile が更新されます。
注: 同期ジョブでは、CA Clarity™ Agile から CA Clarity™ PPM への要件のバージョン番号およびバージョンステータスの同期は実行されません。

CA Clarity™ PPM から CA Clarity™ Agile 内のロールを更新します。

CA Clarity™ PPM から CA Clarity™ Agile にロールとロール階層をダウンロードできます。ロールをダウンロードすると、CA Clarity™ PPM 内のすべてのロールを CA Clarity™ Agile 内で利用できるようになります。

CA Clarity™ PPM のロールで CA Clarity™ Agile のロールを更新するには、[Agile ロールの同期] ジョブを実行します。

プロジェクト統合ステータスの確認

CA Clarity™ PPM プロジェクトを CA Clarity™ Agile にリンクしたら、Agile プロパティ ページで統合ステータスを確認します。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity™ PPM でプロジェクトを開き、[プロパティ] から [Agile] をクリックします。
プロジェクトの Agile プロパティ ページが表示されます。
2. 以下のフィールドの情報を確認します。

同期ステータス

Agile 製品の同期ジョブのステータスを表示します。ステータスは、成功、保留、失敗のいずれかです。

同期の詳細情報

前回実行した日時などのジョブ ステータスの詳細が表示されます。
ジョブが失敗した場合、発生したエラーの詳細が表示されます。

統合が成功している場合、CA Clarity™ Agile と CA Clarity™ PPM 間でデータが転送されています。統合が成功していない場合、以下のようないくつかの問題が考えられます。

- 管理設定ページ上の Salesforce.com または CA Clarity™ Agile 認証情報が間違っている。
- Salesforce.com ネットワークが停止している。
- 入力した CA Clarity™ Agile 製品 ID またはリリース ID が間違っている。
- 作成しようとしている CA Clarity™ Agile プロジェクトがすでに存在する。
- CA Clarity™ Agile リリースが、すでに別の CA Clarity™ PPM プロジェクトにリンクされている。

いずれかの情報の入力が間違っている場合、正しい値を再入力して、Agile 製品同期ジョブを実行し、統合を再度試行してください。

ジョブ管理

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [CA Clarity™ Agile 同期ジョブ \(P. 31\)](#)
- [Agile 製品同期ジョブ \(P. 31\)](#)
- [Agile タイムシート同期ジョブ \(P. 33\)](#)
- [Agile 要件とタスク マッピングの同期ジョブ \(P. 33\)](#)
- [Agile ロール同期ジョブ \(P. 33\)](#)

CA Clarity™ Agile 同期ジョブ

CA Clarity™ Agile Enterprise アドインをインストールすると、CA Clarity™ PPM 内で以下のジョブが使用可能になります。アクティブになります。

- Agile 製品同期
- Agile タイムシート同期
- Agile 要件とタスク マッピングの同期
- Agile ロールの同期

デフォルトでは、これらのジョブは、事前定義された間隔（毎日午前 9 時）に自動実行されるようにスケジュールされています。これらのジョブの既定のスケジュールは、ユーザの組織のニーズに合うように変更できます。また、ジョブをただちに実行して、CA Clarity™ Agile から CA Clarity™ PPM へデータを移動できます。

CA Clarity™ PPM からのジョブのスケジュール設定および実行方法の詳細については、「CA Clarity™ PPM 管理ガイド」を参照してください。

CA Clarity™ Agile 同期ジョブは、以下の CA Clarity™ PPM ジョブと同時には実行できません。

- タイムシートのポスト
- タイムスライス付け
- アーンドバリュー合計の更新
- アーンドバリュー履歴の更新

Agile 製品同期ジョブ

Agile 製品同期ジョブでは以下の項目を同期します。

- プロジェクトとリソース (CA Clarity™ PPM から CA Clarity™ Agile へ)
- タスク (CA Clarity™ Agile から CA Clarity™ PPM へ)

製品同期の詳細

CA Clarity™ PPM では、このジョブにより Agile サブページの以下のフィールドが自動入力されます。

- Agile 製品名
- Agile リリース名

CA Clarity™ Agile では、このジョブにより、リリース開始日とリリース日が、CA Clarity™ PPM のプロジェクト開始日/終了日で置換されます。

注: 多数のプロジェクトの内 1 つでも失敗すると、製品同期ジョブは「失敗」ステータスを報告します。「失敗」ステータスは、対処が必要なプロジェクトが少なくとも 1 つあることを管理者に通知します。このステータスは、すべてのプロジェクトが失敗したことを意味するわけではありません。対処が必要なプロジェクトとその理由を確認するには、CA Clarity™ PPM の同期ジョブのログ ページを参照します。

リソース同期の詳細

CA Clarity™ Agile では、リソースが既存の Salesforce.com ユーザでない限り、ジョブによってユーザが作成されます。

以下のフィールドが CA Clarity™ PPM から取得されます。

- 名
- 姓
- 電子メール
- ユーザ名

タスク同期の詳細

CA Clarity™ PPM では、ジョブによって以下の種類のタスクが、CA Clarity™ Agile のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクを使用するプロジェクトのタスク WBS に自動入力されます。

- 要約タスク
- 詳細タスク
- 未スケジュールタスク

Agile タイムシート同期ジョブ

Agile タイムシート同期ジョブにより、CA Clarity™ PPM の以下の項目が CA Clarity™ Agile のタスク作業ログから自動入力されます。

- タスク上の実績時間
- タイムシート上で指定された日付の、リソースの作業時間と ETC

Agile タイムシート同期ジョブを実行するたびに、CA Clarity™ PPM でタイムシートに行った変更は上書きされます。ただしこれは、タイムシートのステータスがオープンである場合に限ります。

ベストプラクティス : CA Clarity™ Agile すべての更新を行うと、次回タイムシート同期ジョブの実行時に、CA Clarity™ PPM タイムシートで変更が更新されます。CA Clarity™ Agile タスクを CA Clarity™ PPM タイムシート内で更新する必要はありません。

Agile 要件とタスクマッピングの同期ジョブ

このジョブは、CA Clarity™ PPM プロジェクト タスクと CA Clarity™ Agile 要件の関係を同期します。データは CA Clarity™ PPM から CA Clarity™ Agile および CA Clarity™ Agile から CA Clarity™ PPM へ流れます。

Agile ロール同期ジョブ

このジョブは、CA Clarity™ PPM 内で定義されたすべてのロールを CA Clarity™ Agile にダウンロードします。

Agile ロール同期ジョブには、以下のパラメータが含まれます。

Agile ロールの上書き

ジョブの実行時に CA Clarity™ Agile 内の既存のロールを上書きできるかどうかを指定します。現在のロールを上書きするには、チェックボックスをオンにします。

バーンダウンチャート

CA Clarity™ PPM ユーザは、プロジェクトのバーンダウンチャートを表示するために、ダッシュボードのポートレットを設定できます。設定するポートレットは他のユーザには表示されません。各ユーザは、自分がメンバであるプロジェクトの自分用のポートレットを設定できます。

注: CA Clarity™ PPM でのポートレットの設定の詳細については、「Studio 開発者ガイド」を参照してください。

CA Clarity™ PPM プロジェクトを CA Clarity™ Agile にリンクしている場合、データをチャート用に利用できます。

以下のバーンダウンチャートを設定できます。

- Agile 日次時間バーンダウン
- Agile 日次ポイントバーンダウン
- Agile 週次時間バーンダウン
- Agile 週次ポイントバーンダウン
- Agile 月次時間バーンダウン
- Agile 月次ポイントバーンダウン

注: 毎週のバーンダウンチャート用のデータポイントは、各週の最後に計算されます。週の中盤の変更は、週末にかけて反映されます。特定の週のバーンダウンを表示するには、日次バーンダウンチャートをチェックし、日付でフィルタします。

ベストプラクティス:

- 特定の日付範囲のバーンダウンを表示するには、日次バーンダウンチャートを使用します。
- それよりも長期のバーンダウンを表示するには、週次または月次のバーンダウンチャートを使用します。

付録 A: CA Clarity™ Agile への CA Clarity™ PPM フィールドのマッピング

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [プロジェクトのマッピング \(P. 35\)](#)
- [リソースのマッピング \(P. 36\)](#)
- [タスクのマッピング \(P. 38\)](#)
- [タスク作業ログのマッピング \(P. 40\)](#)
- [障害事項マッピング \(P. 41\)](#)

プロジェクトのマッピング

CA Clarity™ PPM プロジェクトを CA Clarity™ Agile 製品にリンクしている場合、これらの製品を CA Clarity™ PPM 内で表示して作業することができます。プロジェクトのリンク後、CA Clarity™ PPM でプロジェクトの日付を更新すると、CA Clarity™ Agile 内でリリース日が自動的に更新されます。

CA Clarity™ Agile の製品およびリリース フィールドと CA Clarity™ PPM のプロジェクト フィールドのマッピングの関係を以下の表に示します。

CA Clarity™ Agile フィールド	CA Clarity™ PPM フィールド
製品名	Agile 製品名
製品 ID	Agile 製品 ID
リリース名	Agile リリース名
リリース ID	Agile リリース ID
マスタ リリース ID	Agile マスタ リリース ID
開始日 (リリース)	開始日 (プロジェクト)
リリース日 (リリース)	終了日 (プロジェクト)

リソースのマッピング

統合 CA Clarity™ PPM プロジェクトのプロジェクトチームにリソースを追加すると、新規アカウントは Salesforce.com アカウントを持たないユーザに対して作成されます。リソースは CA Clarity™ Agile ユーザとして追加されます。既存の Salesforce.com ユーザ アカウントを持つリソースは、CA Clarity™ Agile ユーザとして追加され、CA Clarity™ PPM プロジェクトにリンクされます。

リソースに対して Salesforce.com アカウントがすでに存在するかどうかの判別には、リソースの従業員番号と電子メールアドレスが使用されます。

リソースを CA Clarity™ PPM 内で非アクティブとしてマークすると、マッピングされた Salesforce ユーザも非アクティブになります。

リソースの更新

新規ユーザは、電子メールによる通知を受け取ります。この通知には、ユーザ名としての CA Clarity 電子メールアドレスと、Salesforce.com へのログインに必要な一時パスワードが記載されています。ユーザ名が Salesforce.com 内にすでに存在する場合、電子メールアドレスの末尾にタイムスタンプが追加されます。

ユーザはこの情報でログインして CA Clarity™ Agile にアクセスし、パスワードを変更します。CA Clarity™ Agile ユーザであり、CA Clarity™ PPM プロジェクトにリンクされている一意の各 Salesforce.com アカウントに対しては、CA Clarity™ Agile Enterprise Edition のライセンスが必要です。

リソースの削除

リンクしたリソースが CA Clarity™ PPM で削除された場合、そのリソースは、CA Clarity™ Agile の統合プロジェクトからも削除されます。それらのリソースは、CA Clarity™ PPM にリンクされたユーザストーリーおよびタスクに時間を記録したり、割り当てたりすることはできなくなります。これらのユーザは、CA Clarity™ Agile 内で非アクティブにすることができます。Salesforce.com ユーザも非アクティブになります。

フィールド マッピング

CA Clarity™ PPM と CA Clarity™ Agile 間のリソース フィールドのマッピング関係を以下の表に示します。

CA Clarity™ Agile フィールド	CA Clarity™ PPM フィールド
名	名
姓	姓
電子メール アドレス	電子メール
ユーザ名	日付が追加された電子メール アドレス (例 : firstname.lastname@ca.com.030610)

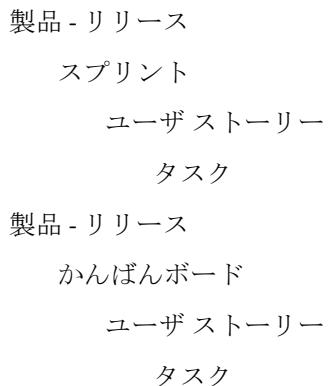
タスクのマッピング

タスクで構成されるユーザストーリーおよび問題を CA Clarity™ Agile 内で作成し、それらをスプリントおよびリリース（製品、マスター、またはその両方）にそれらを割り当てます。対応するタスクは、リンクされた CA Clarity™ PPM プロジェクト内に自動的に作成されます。CA Clarity™ PPM プロジェクトが CA Clarity™ Agile 内のマスター リリースにリンクされている場合、マスター リリースに割り当てられているユーザストーリーのみが WBS に表示されます。マスター リリースに関連付けられているすべての製品は、トップレベルに表示されます。

CA Clarity™ PPM プロジェクト タスクの WBS は、以下のように構築されます。

- 製品名およびリリース名はトップレベルの要約タスクとして表示され、その下にスプリント、かんばんボード、ユーザストーリー、または問題およびタスクが重ねて表示されます。
- ユーザストーリーが製品リリースに割り当てられておらず、マスター リリースに割り当てられている場合、トップレベルの要約タスクは製品名として表示されます。
- ユーザストーリーがマスター リリースに割り当てられておらず、製品リリースに割り当てられている場合、トップレベルの要約タスクはリリース名として表示されます。
- 割り当てられるユーザストーリーは、スプリントまたはかんばんボード下でグループ化されます。
- 割り当たらないユーザストーリーは、未スケジュールタスクとしてグループ化されます。
- タスクは、関連付けられるユーザストーリーごとにグループ化されます。
- 問題は、スプリント、かんばんボード、または未スケジュールのタスクの下に、ユーザストーリーと同じレベルでグループ化されます。

CA Clarity™ PPM プロジェクトが CA Clarity™ Agile 内のマスター リリースにリンクしている場合、WBS 階層は以下のようになります。



CA Clarity™ PPM プロジェクトが CA Clarity™ Agile 内の製品リリースにリンクしている場合、WBS 階層は以下のようになります。

```
スプリント
  ユーザストーリー
    タスク
    かんばんボード
      ユーザストーリー
        タスク
```

タスクの更新

CA Clarity™ Agile 内でタスクに加えたすべての変更は、CA Clarity™ PPM 内で自動的に反映されます。たとえば、タスクの担当者が変更されると、その変更は CA Clarity™ PPM でも反映されます。CA Clarity™ Agile で見積もり時間と担当者を削除すると、CA Clarity™ PPM のタスクでも ETC と担当者が削除されます。

タスクの削除

CA Clarity™ Agile のスプリントを削除すると、統合されたスプリントタスクが CA Clarity™ PPM で削除されます。このスプリントタスクのサブタスクは、以下に従って再度グループ化されます。

- 親ユーザストーリーがスプリントまたはかんばんボードに割り当てられていない場合、サブタスクは未スケジュールタスクにグループ化されます。
- 親ユーザストーリーが新しいスプリントに割り当てられている場合、サブタスクはその新しいスプリントタスクにグループ化されます。
- 親ユーザストーリーが新しいかんばんボードに割り当てられている場合、サブタスクはその新しいかんばんボードタスクにグループ化されます。

CA Clarity™ Agile でタスクの実績値があるユーザストーリーを削除した場合、タスクおよびそのサブタスクは CA Clarity™ PPM の削除済みタスク グループにロールアップされます。いずれのタスクにも実績値がない場合、ユーザストーリータスクとそのサブタスクは CA Clarity™ PPM から削除されます。

フィールドと値のマッピング

CA Clarity™ Agile のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクの情報がどのように使用されて、CA Clarity™ PPM WBS のフィールドおよび値として入力されるかを以下の表に示します。

CA Clarity™ Agile フィールド/値	CA Clarity™ PPM フィールド/値
■ スプリント名	タスク
■ かんばんボード名	
■ ユーザストーリー タイトル	
■ タスク タイトル	
担当者	割り当て
予想時間	ETC (残存作業時間) (タスク担当者が存在する場合のみ、CA Clarity™ PPM 内で取得されます)
計画済み (タスクステータス)	開始前 (タスクステータス)
進行中 (タスクステータス)	開始済み (タスクステータス)
クローズ (タスクステータス)	完了 (タスクステータス)
スプリント開始/終了日	タスク開始/終了日 (タスクがスプリントに割り当てられている場合)
リリース開始/終了日	タスク開始/終了日 (タスクがスプリントに割り当てられていない場合)

タスク作業ログのマッピング

タスク作業ログまたは仮想ウォールを使用して、CA Clarity™ Agile でタスクに作業時間を入力すると、CA Clarity™ PPM では以下の更新が行われます。

- 時間を記録するユーザが、[割り当て] ページ上で、リンクされているタスクに担当者として追加されます (CA Clarity™ PPM タスクに既存の担当者が存在しない場合)。
- 作業時間はタスクの実績値に追加されます。
- 作業時間と残存時間が、CA Clarity™ PPM 上で、関連リソースのタイムシートの該当する日付に入力されます。

CA Clarity™ Agile タスクの作業ログ情報が CA Clarity™ PPM のタイムシートにどのようにマッピングされるかを以下の表に示します。

CA Clarity™ Agile 作業ログ	CA Clarity™ PPM タイムシート
Agile ユーザ名/担当者	リソース名
作業時間	1 日単位の記録時間
残存時間	ETC (残作業時間)
作業日	タイムシート期間の日付
タスク タイプ	請求コード

CA Clarity™ Agile で作業ログを更新するたびに、対応する CA Clarity™ PPM のタイムシートが更新されます。ただし、タイムシートが提出済みステータスの場合は更新されません。

CA Clarity™ PPM のタイムシートで時間を取得した後に、CA Clarity™ Agile の作業ログを削除することができます。現在、タイムシートが提出されていない場合は、CA Clarity™ Agile での最新の更新に基づいて更新されます。タイムシートがすでに提出されている場合は、タイムシートの調整が作成されます。

障害事項マッピング

CA Clarity™ Agile で障害事項を作成すると、CA Clarity™ PPM で以下の更新が発生します。

- 関連する CA Clarity™ PPM タスクに対して CA Clarity™ PPM の問題が作成されます。
- CA Clarity™ Agile のオーナー ユーザ ID が有効な CA Clarity™ PPM リソースでない場合、障害事項のオーナーが割り当てられます。それ以外の場合、製品は有効なリソース(望ましくはプロジェクトマネージャ)を割り当てます。オーナーまたはプロジェクトマネージャ ユーザのどちらの ID も有効でない場合、オーナーとしてシステム管理者が割り当てられます。

以下の表には、CA Clarity™ PPM にマッピングされ、Agile 同期ジョブが実行されるたびに同期されるフィールドが示されています。

CA Clarity™ Agile の障害事項フィールド/値	CA Clarity™ PPM の問題フィールド/値
タイトル (255 文字)	名前 (80 文字) *
なし、SFDC ID を使用 (18 文字)	ID (18 文字)

説明 (32000 文字)	説明 (250 文字) *
担当者	オーナー
期限	解決予定日
重大度 :	優先度 :
<ul style="list-style-type: none">■ プロッカー■ メジャー■ マイナー	<ul style="list-style-type: none">■ 高■ 中■ 低
ステータス :	ステータス :
<ul style="list-style-type: none">■ オープン■ 進行中■ 解決済み■ クローズ	<ul style="list-style-type: none">■ オープン■ 進行中の作業■ 解決済み■ クローズ

文字数が CA Clarity™ PPM の文字制限を超える場合、CA Clarity™ PPM では超過部分は切り捨てられます。